

第72期中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

証券コード 6282

 **オイルス工業株式会社**

株主の皆様へ



株主の皆様には、格別のご高配にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第72期第2四半期（2022年4月1日～2022年9月30日）の営業概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波や、ロシア・ウクライナ情勢に起因した原材料費、エネルギー価格の高騰、為替相場の急激な変動などにより先行き不透明な状況が続いており、企業活動にも影響を及ぼしております。このような環境にあつて、当企業グループは2021年度を起点とする中期経営計画（2021年度～2023年度）の2年目にあり、グループで一丸となって計画達成に向けた取り組みを進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28,631百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は1,702百万円（前年同期比35.6%減）、経常利益は2,175百万円（前年同期比25.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,077百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

軸受機器

オイルレスベアリングは無給油あるいは給油の回数や量を大幅に減少させることができ、省資源・環境への配慮の観点から自動車をはじめ各種産業機械などに幅広く採用されております。



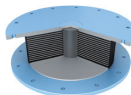
海外市場においては、中国の新型コロナウイルス感染再拡大によるロックダウンや、欧米での自動車減産が売上の下押し要因となりましたが、円安の影響を受けたことや国内市場において一般産業向け製品が製造業の生産活動持ち直しから堅調に推移したことにより、軸受機器全体の売上は前年同期を上回りました。一方、セグメント利益は原材料費や物流費高騰の影響を受け前年同期を下回りました。

この結果、軸受機器の売上高は20,774百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は1,121百万円（前年同期比40.5%減）となりました。

売上高構成比
72.6%

構造機器

オイルレスベアリングの長年にわたる研究開発で培ったトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑）技術から派生して開発された免震・制震の技術は、人命、社会的財産や都市機能などを地震から守ります。



橋梁向け製品、建築向け製品ともに物件の工期遅れにより売上時期が第3四半期以降となったことや、前年同期と比較して大型物件が少なかった影響があり、構造機器全体の売上、利益は前年同期を下回りました。

この結果、構造機器の売上高は4,309百万円（前年同期比15.4%減）、セグメント利益は439百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

売上高構成比
15.1%

建築機器

風、太陽光を自在に操り、快適で安全な室内環境を実現する建築機器製品は高層ビル、公共施設、病院や住宅などあらゆる建築物に採用されております。



住宅用製品は、主力である外付ブラインドのブリュウが前年同期を上回る売上となり、また、ビル用の主力製品である排煙・換気装置ウィンドウオペレーターは、中低層物件など新築市場への売上が堅調に推移し、前年同期を上回る売上、利益となりました。

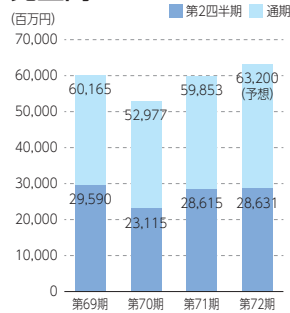
この結果、建築機器の売上高は2,758百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は112百万円（前年同期比131.9%増）となりました。

売上高構成比
9.6%

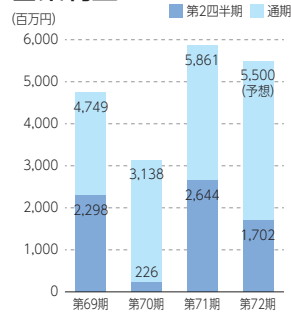


営業成績及び財産の状況の推移（連結）

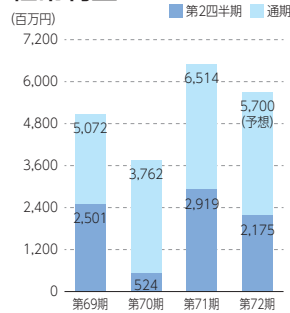
売上高



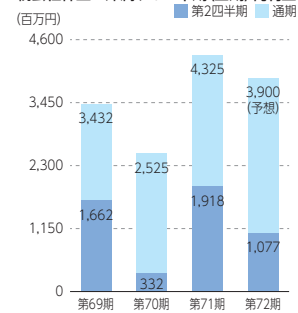
営業利益



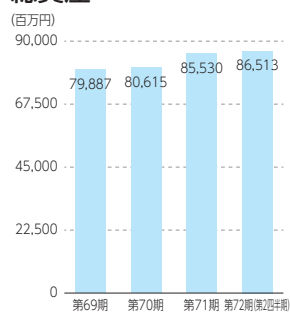
経常利益



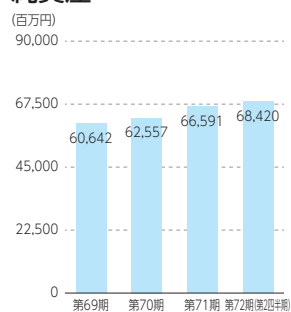
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



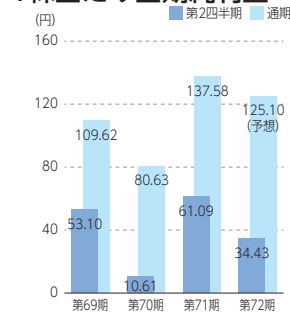
総資産



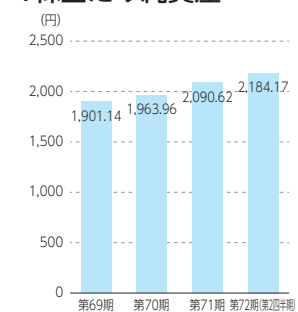
純資産



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



今後の見通しについて、原材料費や物流費高騰の影響があるものの、売価への転嫁や円安に加え、軸受機器事業で海外市場の回復と構造機器事業で第3四半期以降にずれ込んだ物件の売上を見込んでおります。この前提の下、2023年3月期の見通しは、売上高は63,200百万円、営業利益は5,500百万円、経常利益は5,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,900百万円を予想しております。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長

飯田 昌弥

四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	期 別	前期末 (2022年 3月31日)	当第2四半期末 (2022年 9月30日)	科 目	期 別	前期末 (2022年 3月31日)	当第2四半期末 (2022年 9月30日)
資産の部				負債の部			
流動資産				流動負債			
現金及び預金		21,112	22,038	支払手形及び買掛金		5,903	5,984
① 受取手形及び売掛金		19,832	16,602	1年内返済予定の長期借入金		1,090	1,090
商品及び製品		4,247	4,786	未払法人税等		1,261	680
② 仕掛品		3,439	4,698	賞与引当金		1,192	1,234
原材料及び貯蔵品		3,653	3,896	役員賞与引当金		127	57
その他		932	1,193	株主優待引当金		84	-
貸倒引当金		△54	△64	その他		3,456	3,645
流動資産合計		53,162	53,150	流動負債合計		13,114	12,692
固定資産				固定負債			
有形固定資産				③ 長期借入金		3,893	3,206
建物及び構築物（純額）		11,763	11,840	役員退職慰労引当金		72	36
機械及び装置（純額）		5,546	5,945	役員株式給付引当金		113	95
土地		2,882	2,923	退職給付に係る負債		538	476
その他（純額）		2,720	2,910	その他		1,206	1,585
有形固定資産合計		22,913	23,619	固定負債合計		5,824	5,400
無形固定資産		349	361	負債合計		18,939	18,093
投資その他の資産				純資産の部			
投資有価証券		6,635	6,764	株主資本			
退職給付に係る資産		108	105	資本金		8,585	8,585
その他		2,377	2,527	資本剰余金		9,615	9,615
貸倒引当金		△16	△16	利益剰余金		49,668	49,782
投資その他の資産合計		9,105	9,381	④ 自己株式		△4,810	△5,639
固定資産合計		32,367	33,363	株主資本合計		63,058	62,343
資 産 合 計		85,530	86,513	その他の包括利益累計額			
				その他有価証券評価差額金		1,920	2,164
				為替換算調整勘定		1,309	3,539
				退職給付に係る調整累計額		△285	△252
				その他の包括利益累計額合計		2,943	5,451
				非支配株主持分		588	625
				純 資 産 合 計		66,591	68,420
				負債純資産合計		85,530	86,513

POINT① 受取手形及び売掛金

構造機器セグメントにおいて、売上債権の回収が進んだため減少いたしました。

POINT② 仕掛品

構造機器セグメントにおいて、第2四半期に完成を予定していた物件の工期遅れなどの影響により残高が増加いたしました。

POINT③ 長期借入金

シンジケートローンの一部の返済、及び株式給付信託（ESOP：従業員持株会処分型）に伴う借入金の返済により減少いたしました。

POINT④ 自己株式

自己株式の取得をおこないました。

四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別	前第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
科 目		
① 売上高	28,615	28,631
売上原価	18,980	19,641
売上総利益	9,634	8,989
販売費及び一般管理費	6,990	7,287
営業利益	2,644	1,702
営業外収益		
受取利息	29	44
受取配当金	91	183
受取保険金	117	18
② 為替差益	5	537
その他	80	87
営業外収益合計	323	870
営業外費用		
支払利息	13	7
デリバティブ評価損	19	360
その他	15	30
営業外費用合計	48	398
経常利益	2,919	2,175
特別利益		
投資有価証券売却益	10	26
特別利益合計	10	26
特別損失		
固定資産処分損	42	10
投資有価証券売却損	0	21
投資有価証券評価損	—	165
特別損失合計	42	197
税金等調整前四半期純利益	2,886	2,004
法人税等	919	890
四半期純利益	1,967	1,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,918	1,077

POINT① 売上高

軸受機器セグメントは、一般産業向け製品においては、前期までの新型コロナウイルスによる影響から製造業の生産活動が持ち直したことにより、売上が増加いたしました。自動車向け製品においては、欧米での自動車減産の影響を受けて売上が減少いたしました。構造機器セグメントは、橋梁向け・建築向けともに物件の工期遅れにより売上時期が第3四半期以降にずれ込んだことによる影響や、大型案件が少なかった影響を受けて売上が減少いたしました。

POINT② 為替差益

前期比で円安が進行したため、為替差益が生じました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

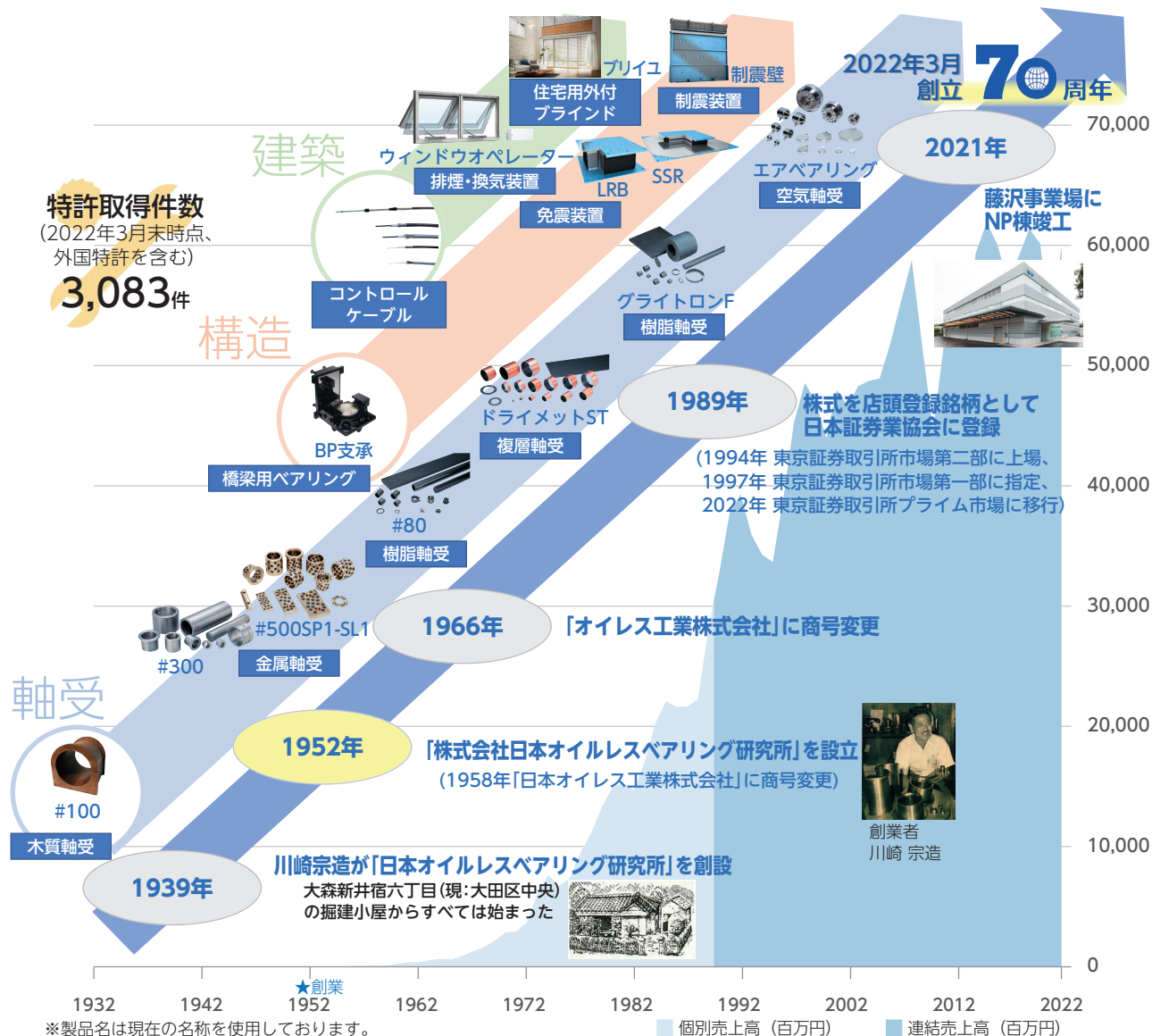
期 別	前第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
科 目		
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,186	4,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	△726	△1,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,520	△2,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	258	843
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,198	783
現金及び現金同等物の期首残高	20,587	20,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,786	21,121

POINT 投資活動によるキャッシュ・フロー

藤沢事業場のNP棟設備に係る有形固定資産の取得等により支出が増加いたしました。

おかげさまで創立70周年を迎えることができました

当社は、トライボロジー技術(摩擦・摩耗・潤滑)に加え、ダンピング技術(振動制御)をコア技術として、多くの製品を生み出し、社会に貢献してきました。





軸受機器

オイレスダンパーがLEXUSブランドのブレーキペダルに初めて採用されました

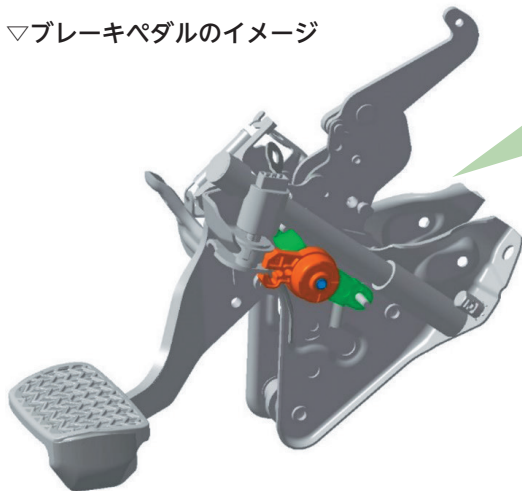
トヨタ自動車(株)が展開する高級ブランド『LEXUS』のブレーキペダルにオイレスダンパーが採用されました。

当社のオイレスダンパーは、小型で高い減衰力を備えた製品です。これまでは自動車のシートに広く採用され、シートが倒れる際の速度を抑制することで、安全性の向上や高級感の演出等に当社の技術が貢献してきました。

この技術がブレーキペダルの部位に初採用され、ペダルが戻る際の動きの質感を高め「高級感のあるペダルフィーリング」や「自然な踏み心地」を実現しています。また、オイレスダンパーは小型・軽量化が可能であり、低燃費化にも寄与しています。

今後も、当社のコア技術であるトライボロジー技術やダンピング技術で、社会の多様なニーズに応えてまいります。

▽ブレーキペダルのイメージ



◁オイレスダンパー

オイレスダンパーにより高級感のある
踏み心地を実現

オイレスダンパーが採用された新型NX▷



製品トピックス

構造機器

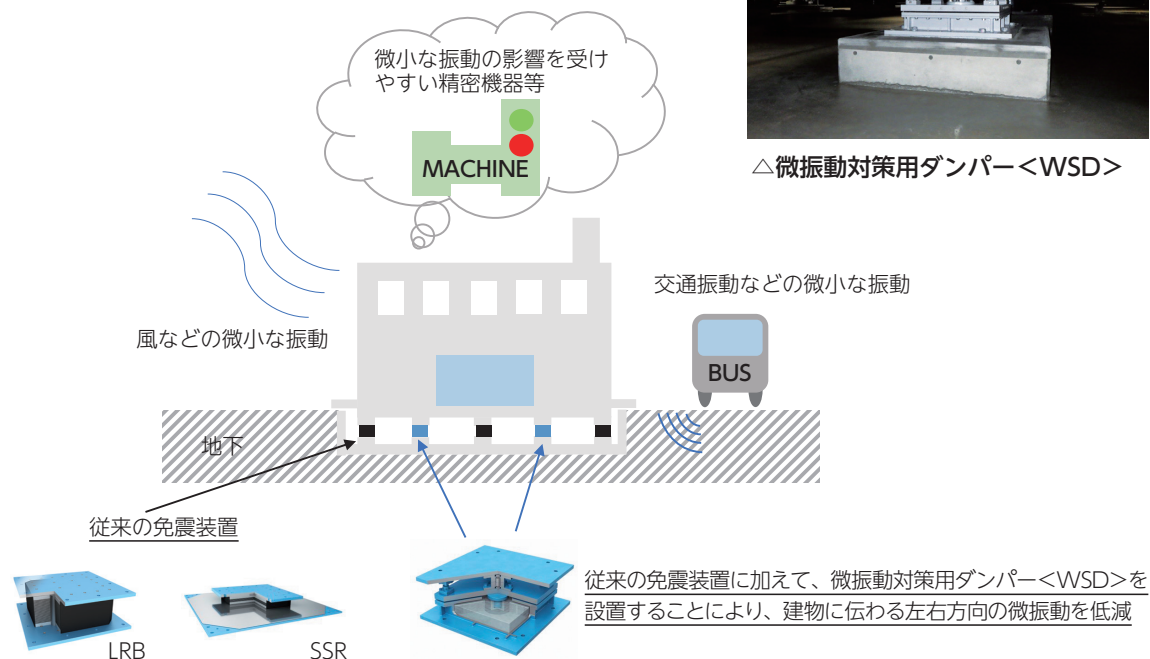
～微振動対策用ダンパー＜WSD＞～ 需要が高まる半導体施設の安全性を高めます

免震建物は地震時の安全性と事業継続性を劇的に向上させますが、微小な振動（交通振動や風など）に関して非免震建物よりも影響を受けやすい場合があります。そのため、極めて精密な設備を有する生産施設や研究施設においては、免震構造の採用に課題がありました。

当社が開発した微振動対策用ダンパー＜WSD＞は、既存の免震装置と併せて設置することで、平常時の微振動抑制効果と大地震時の建物安全性の両立を可能にします。

近年の半導体関連施設の需要に対し、今後、WSDを組み合わせた高性能な免震システムを提案することにより、BCP対策として免震化の訴求と拡販をすすめてまいります。

▽微振動対策用ダンパー＜WSD＞の効果イメージ



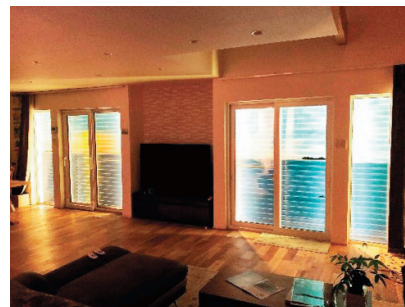


建築機器（オイレスECO株式会社）

スマートハウス「Smart2030零和の家[®]」に外付ブラインド「ブレイユ[®]」が標準採用されました

2022年6月13日に「すべての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合を義務付け」とする改正建築物省エネ法が成立しました。これにより、これから建てる家は、脱炭素社会の実現に資する省エネ住宅であることが必須となります。

エスイーエー(株)の「Smart2030零和の家[®]」は、『防災性能が高く、再生可能エネルギーの自給率100%で、すばらしい空気環境での健康的な暮らし』をコンセプトとしており、IoTやITの技術で、省・蓄・創の3つのエネルギーを効率的にコントロール・マネジメントする、未来を見据えた家です。標準採用となった当社の外付ブラインド「ブレイユ[®]」はここで、断熱・採光・換気・防風・遮熱・耐風に加え、プライバシー保護・デザイン性・日射遮蔽・日射取得といった「カーテン」＋「防災」＋「性能」の役割を果たしています。



△スプレーアートを施したブレイユ[®]



△Smart2030零和の家[®]

また、今回上越中央展示場(新潟県)に取り付けたブレイユ[®]は、いつでも美しい佐渡島と日本海の夕日が見たいというご要望から、ブラインドの内側にスプレーアートを施した特注仕様となっており、その性能だけでなく、住む人の快適性の向上にも寄与しています。

オイレスECOは、人々の暮らす社会が快適で持続可能なものとなるよう、製品づくりに取り組んでいます。



会社の概要／株式の状況 (2022年9月30日現在)

会社の概要

商号	オイレス工業株式会社 OILES CORPORATION
設立	1952年(昭和27年)3月11日
資本金	85億8,500万円
本社	神奈川県藤沢市桐原町8番地 (登記上の本店: 東京都港区港南一丁目2番70号)
従業員数	連結2,032名(485名) 単体793名(294名) *パート/嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載
事業内容	オイルレスベアリング、免震・制震装置、支承、その他の製造販売をおこなっております。 なお、建築機器(ウィンドウオペレーター、環境機器、住宅用機器等)につきましては、当社子会社のオイレスECO株式会社で事業をおこなっております。
連結子会社	8社(国内)、8社(海外)

株式の状況

発行可能株式総数	153,200,000株
発行済株式の総数	34,300,505株
総株主数	15,308名
大株主(上位10位・自己株式除く)	

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,607千株
東京中小企業投資育成株式会社	2,966千株
株式会社みずほ銀行	1,200千株
日本生命保険相互会社	969千株
川崎景介	829千株
オイレス東日本共栄会	779千株
川崎景太	721千株
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	701千株
オイレス従業員持株会	694千株
株式会社三菱UFJ銀行	567千株

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当をおこなう場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード6282)
単元株式数	100株

【株式事務のお問い合わせ先】

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取方法の変更及びマイナンバーのお届け等のお問い合わせ	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 WEBサイト(https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html) フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせください。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続きをおこなっていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いいたします。	

役員

【取締役】

代表取締役社長	飯田 昌弥
取締役	田邊 和治
取締役	宮崎 聡
取締役	坂入 良和
取締役	大村 康二 ※
取締役	宮川 理加 ※

【監査役】

常勤監査役	溝口 勝広
常勤監査役	須田 博
監査役	君島 得宏 ※
監査役	前田 達宏 ※

(※社外役員)

【執行役員】

社長執行役員	飯田 昌弥
常務執行役員	田邊 和治
常務執行役員	宮崎 聡
上席執行役員	坂入 良和
上席執行役員	山元 和宏
上席執行役員	奥津 清文
執行役員	米山 操

最新情報は当社WEBサイトをご参照ください。
<<https://www.oiles.co.jp/>>

2022年9月1日から、
株主総会資料の電子提供制度
開始されました。

リーフレットを同封しておりますので
詳細につきましてはそちらをご参照ください。

■お問い合わせ先

証券会社：お取引の証券会社

株主名簿管理人：みずほ信託銀行 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル
0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)



株式に関するご案内



■単元未満株式買取制度について

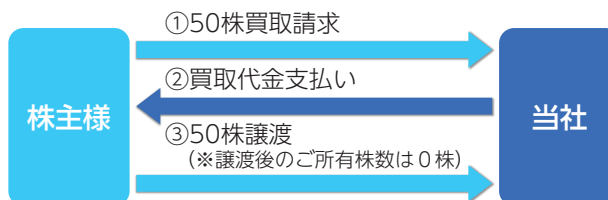
当社株式の証券市場での取引は100株（1単元）単位となっているため、単元未満株式（1～99株）は、市場で売ることができませんが、以下のお手続きによって市場価格で売却（現金化）することができます。

なお、当社は単元未満株式の買増制度は採用しておりません。

《買取請求に関するお問い合わせ先》

- 証券会社等の口座に記録された株式 → お取引の証券会社へ
- 特別口座に記録された株式 → 株主メモに記載のみずほ信託銀行証券代行部へ

（具体例：50株ご所有の場合）



■特別口座から証券会社等の口座への振替について

株券電子化に伴って、証券会社等を通じて証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の株式は、株主様の権利を守るため、みずほ信託銀行に開設された特別口座に記録されています。

特別口座にて管理されている株式100株以上を市場で売却するには、下図のとおりお手続きが必要です。

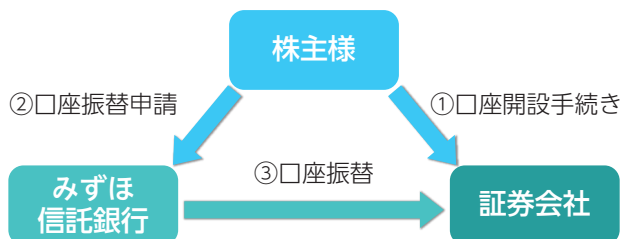
《特別口座の口座振替に関するお問い合わせ先》

みずほ信託銀行証券代行部

※詳細は**株主メモ**をご参照ください。

※特別口座とは、株券電子化（2009年1月5日）前に、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株式を管理するために、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

（具体例）



株主さまアンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード **6282**

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....



検索窓から

いいかぶ

検索



kabu@wj.m.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

(2201)

アンケートのお問い合わせ



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



今回の表紙は建築機器部門の
『外付ブラインド ブリイコ®』をイメージしています。